

重点分野2 (中目標)	投資環境改善											
	【現状と課題】 ブラジルは、世界銀行の”Doing Business Ranking2020”の総合投資環境ランキングで190か国中124位に位置し、この評価は南米で最も優れた投資環境とされているチリ(59位)、コロンビア(67位)のそれを大きく下回る。民間投資促進に関する課題として、人口増加やインフラ整備不足による都市機能の低下・環境の悪化、ブラジルクストと呼ばれる複雑な法制度や高額の税制、専門技術を有する人材の不足が挙げられる。				【開発課題への対応方針】 産業競争力強化のための環境整備や技術支援等、民間資金との連携も念頭に、人的資源の拡充を含め経済成長を促進する分野での支援を行う。上記方針を通じ、持続可能な開発目標2(飢餓)、8(成長・雇用)、9(イノベーション)、17(実施手段)等の達成に貢献する。							
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	産業人材育成プログラム	産業競争力強化のための環境整備や技術支援等、民間資金との連携も念頭に、人的資源の拡充を含め経済成長を促進する分野での支援を行っていく。	農業サプライチェーン強化事業	有償	2019年度以前	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		海外投融资
			ブラジル国アマゾンアルミナ・アルミニウム製造合弁事業に係る本邦研修	国別研修								有償勘定技術支援
関連分野の課題別研修			課題別研修他									
重点分野3 (中目標)	三角協力支援											
開発課題3-1 (小目標) JBPPの推進	【現状と課題】 日本ブラジル・パートナーシップ・プログラム(JBPP)に基づき、日ブラジル双方の開発方針の合致する分野において最終受益国に対して戦略的に三角協力を推進する。				【開発課題への対応方針】 日ブラジル双方で確認した優良候補案件の案件形成を行うとともに、既存案件の円滑な実施とその成果の拡大を推進する。上記方針を通じ、持続可能な開発目標3(保健)、4(教育)、6(水・衛生)、17(実施手段)等の達成に貢献する。							
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	日本ブラジル・パートナーシップ・プログラム(JBPP)	JBPPの枠組みにおける共同プロジェクト、共同セミナー、第三国研修の3スキームを効果的に活用し、受益国の開発に資する三角協力の形成・実施を推進する。	人間的出産・出生ケア	第三国研修	2019年度以前	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
			ポルトガル語アフリカ諸国の職業訓練能力強化	第三国研修								
			南南・三角協カマネージメント能力強化フェーズ2	第三国研修								
			配水システムにおける無取水対策(予防、削減、コントロール)に関する好事例	第三国研修								
上下水道システム運営・維持管理能力強化			第三国研修									

重点分野4 (中目標)												
	協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
				2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度			
開発課題4-1 (小目標) その他	国民参加型の協力	サンパウロ市における音楽リハビリを活用した介護予防モデル構築	草の根技協									
		サンパウロ州カサバーバ市における環境教育推進事業	草の根技協									
		日系社会支援分野のJICA海外協力隊	JOCV									
		その他	ブラジルと日本の薬剤耐性を含む真菌感染症診断に関する研究とリファレンス協力体制強化プロジェクト	科学技術							3.81	
			ポータブル超音波画像診断システム普及促進事業	普及・実証・ビジネス化事業								採択時のスキーム名称は普及促進事業
			超高温処理を用いた高付加価値食品産業振興に関する案件化調査	案件化調査								
			保健・医療分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.40	
			社会福祉・教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.67	
			ベネズエラ難民・移民人道支援計画 (UNHCR連携)	無償							4.17	国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)
	ベネズエラ周辺国における避難民に対する緊急無償資金協力	緊急無償							2.75	UNHCR		

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「国別研修(有償)」、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実線「——」」(=実施期間)、「破線「- - -」」(=実施予定期間)